

【サンデンフォレスト】 <http://www.sandenforest.com/>

サンデンフォレストは、サンデン株式会社の赤城工場を含む約20万坪の森で、工場見学や周辺の森を使つての自然体験活動ができるフィールドです。

特徴としては、民間「初」最大規模の近自然工法で造成されたということがあげられ、「環境と産業の共存」をテーマに、工業製品の物作りだけでなく、里山の復元、希少植物や昆虫の保護などの環境保全活動も実践しています。

工場見学では、最新式の自動販売機やショーケースの製造工程や、廃棄物を80種類以上に分別して置くりサイクル集積所などを間近に見ることができ、県内の多くの学校が社会科見学で訪れています。また、周囲には一周6kmの散策道が整備され、森の散策や、ネイチャーゲーム、ネイチャークラフトなどを体験することができ、沢ガニやカ



サンデンフォレスト全体図

ブトムシ、ヤギなどの生き物ともふれあえることができ、年間を通じて様々なイベントが行われています。さらに今年4月からは「自販機ミュージアム」も新たにオープンし、世界最古の自動販売機のレプリカや、自動販売機の歴史や仕組み、最新の技術といったことを学べます。

見学やイベントについての詳細については、サンデンフォレストまでお問い合わせ下さい。要予約です。(文:根岸)

所要時間:交流の家から車で20分 住所:〒371-0201 群馬県前橋市粕川町中之沢7番地
問合せTEL:(一般の方)027-280-9800、(小中学校の団体)027-285-3225

リレーcolumn
すたっふの目

『赤城に来て18年、還暦の心境』

文:佐藤 順彦
【さとう よしひこ】



交流の家の生き字引きである佐藤さん。体を動かしていない日はありません!

皆さん、こんにちは、佐藤です。

毎日毎日暑い日が、続きますが、体の調子はいかがですか?熱中症には、充分注意してください。あれはつらいですよ。

私、赤城(交流の家のこと)に来たのが、平成6年です。あれよ、あれよと18年が経過し、とうとう、60歳になってしまいました(爺さんですよ、いやですねー)。

「定年」という言葉を自覚させられたのは、年金に関する書類が、届いた時。もうひとつ、50歳後半から60歳にかけて、体力低下に伴い、作業スピードが遅くなりました。これは自分でも認めたくなく、心の中で「まだ、若い者には負けないぞ」と体力低下の否定をしていましたが、60歳になり体力低下より回復力の低下にガッカリ。無駄な否定より、現状を受入れる事にして、体力に応じて、自分のペースで続ける事にしました。

でもでもでも、すごーく、寂しいです。

つぶやき

転んで骨折して人生初の入院&手術をしてしまいました。まだ鎖骨にプレートが入っています。(秋山)

夏は暑いものです。人間はの中で生きていける生き物だったはず。何が変わってしまったのか...?(桜井)

ミヤマクワガタを捕まえるのが夢でした。夢が叶った今、次に赤城が見せてくれるモノに心躍ります。(小川)

大切に育てた花がとうとう散ってしまいました。今度は何を植えようかな!(*O*)(廣澤)

夏はクラクラ、太陽になのか、君になのか、早く補給しよう。水分、塩分、糖分、それと君の笑顔も。(新井)

暑い夏が終わりました。赤城はいつも満員御礼。みなさまのご支援のおかげです。(高瀬)

当施設のBBQのお肉がうますぎる!!!コレってアリ!?ぜひお試しアレ (井上)

ペランダでBBQやったら床が溶けました...(;;) 火気の取扱注意!!(大澤)

この間ぐんぐんキャンプで、こどもたちと水鉄砲で撃ち合いました。夏には最高の遊びですね。(根岸)

時期によって小学生が多かったり高校生がずらりと並んでいたりと...夏休みは小さい子どもが来るので楽しみ。(山崎)

記事の構成について、御意見をメールで頂けるとありがたいです。このコーナーがいらぬ、この情報が欲しい等。(田村)

蝉の鳴き声、入道雲、強い日差し、まさに盛夏で身体にこたえます。秋が待ち遠しいこの頃です。(島崎)

歩いても汗、草刈をすると超汗だく、でも後ろを見るときれいになっている。汗をかくことは良いことだと自分にいきかせて頑張っている今日この頃です。早く秋よこい。(佐藤)

9月末でまる1年、ふり返ればきちんと成長できてないなあ、色々経験しなきゃと反省。頑張ろう(中屋)

見上げると、秋の空になってきましたが赤城はまだ暑いんです。それでも日陰は爽やかです。涼を求めに赤城に来ませんか?(坂田)

所主催の歴史探訪ツアーの下見に行ってきました。現地を感じる歴史。ぜひご参加を!(星野)

空は青空 山雲浮かび 谷にサラサラ瀾の音聞こゆ なんて歌いながら歩きたいけれど、暑過ぎ!狂ってる(小野里)

今年は、プライベートで育成会行事に奮闘中!暑さにも負けない子ども達に元気を貰っています。(阿佐美)

フヨ、蚊、アブ、蜂、ハビ、イノシ、熊...自然豊かな環境です!!野外活動には知識、知恵も必要ですね。(鈴木)

長期キャンプが終わり、エンジンがかからなくなってしまった一(柴崎)

富士山に登ってきました!初めての富士山、不安いっぱいでしたが、無事に素敵なお光を見られました!(薫)

緑のカーテン、今年で3年目です。やっとカーテンになりました。子育てと同じですね。手をかけないと!(神山)

この前のお休み、溪流釣りをしながら沢登りをしました。源流付近ではわさびが!(内田)

今号のつぶやき掲載順は、「身長の高い順」。

次号は、
10月11日発行予定!

風のおと

2回にわけて赤城へ来ませんか?

今年の夏は、とてもたくさんの方々にご利用いただき、本当にありがとうございます。同時に、会場の手配とか、色々ご迷惑をおかけしたことも多かったようで、本当に申し訳ありませんでした。お詫びしながら、言い訳して恐縮なのですが、夏の間は、利用いただく方々が、とにかく多く、いかんともしがたい状態であります。

そこで、いくつかの団体の指導者の方とはお話をさせていただいたのですが、夏ばかりではなく、冬にもご利用いただけるとうれしいです。例えば、夏に2泊3日していたなら、夏は1泊2日。そして、冬にも

1泊2日していただくというのはいかがでしょうか。

自然体験をするなら、日本の自然の特徴である四季も、感じていただきたいと思うのです。そして、冬は施設的にも、職員も、比較的ゆとりがあります。目的にそった充分な支援をさせていただけるのではないかと思います。もちろん冬でも楽しめるプログラムをご用意します。

所長 桜井義維英



Mudagi

「おばあちゃんのもも」

このももは、桃を育てて60年、88歳のおばあちゃんを作りました。体にやさしいものをと、農業もあまりかかっていません。暑い夏、ひんやりした桃が体に「するっ」と入っていく幸せ。おばあちゃんのやさしい思いが、桃にのって届きました。

国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp>

TEL:027-289-7224 (9:00~18:00)

FAX:027-289-7226

赤城 カラゴロリ

検索

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

E-mail: akagi@niye.go.jp

より学校にあったサポートを目指して ～今年度は5校で実施～

国立赤城青少年交流の家では、学校が行う自然体験活動（集団宿泊活動）をサポートするための試みを今年からはじめています（本所ではその試みを試行実施と呼んでいます）。

学校、特に先生方にとっては、自然体験活動は、その準備に忙しいだけでなく、どのようにプログラミングすればよいのか、また当日はどう運営したらよいのか、悩みの種でもあります。本所の職員がその専門性を活かして活動をお手伝いすることで、先生方の負担を減らすだけでなく、効果的なプログラムの実施、適切な安全管理を行うことができます。その負担を減らすということは、子どもたちを観察する時間ができるので、学級運営にも効果的に活かしていけるようになります。そのようなねらいをもって、この8月までに1つの高校、3つの小学校をサポートしました。

尾瀬高校は毎年、4月に入ってすぐ、良い雰囲気です。1年間のスタートを切るためのフレッシュマンキャンプ（オリエンテー



どうしたら子どもたちにとってより意義のある時間になるか、先生と交流の家と一緒に考えることを大切にしました。

ションキャンプともいいます）を行って行っていました。今年度は本所がバックアップしたことで、AAPやツリーイングなどの活動を提供することができました。その後6～8月に実施した古巻小、総社小、白川小、清里小については、プログラム企画の段階から職員が提案したり、学校の要望に応じてプログラム指導を行うなど、事前指導から当日、実施後と、全行程にわたるサポートを行いました。



おなじみの野外炊飯も、目的によって展開の方法は無限度に広がります。大切なのは「何のための」活動か、ということです。

【学校からの声】

- ・プログラムについて事前に相談していたので、無理のない日程を組むことができました。
- ・事前説明会にスタッフが来てくれたので、施設の情報を保護者も聞くことができ、安心につながりました。
- ・たくさんの目で子ども達をみることで健康面や安全面に十分に配慮することができました。

来年度（2013年度）に企画づくり・指導などの支援を希望する学校がありましたら、事業推進室企画チーム（担当：高瀬）までご相談ください。条件・日程を考慮した上で、検討させていただきます。（試行実施については施設を予約された上でご希望をお出しください）
（文：高瀬）

4月～9月に実施しました
試行実施事業

プログラム紹介！

【館内ラリー】

「雨の日のプログラムが何かないかな？」「室内で人間関係作りができないでしょうか。」そんな声に応えるべく、試行錯誤の末、待望の「館内ラリー」のプログラムが完成しました。

館内にいくつかのポイントを



設け、10人程度のグループでミッションに挑戦していくものです。いずれのミッションも、知恵を出し合ったり、気持ちをそろえたり、メンバーの力を出しあわないとクリアできません。「スカイツリーが楽しかった。」「協力する大切さがわかった。」等、大変好評です。自主活動プログラムですが、わかりやすいマニュアルも用意しております。ポイントでの課題はいくつかあり、その中から選んでいく形となります。詳しくは職員までお問い合わせください。（文：小川）
空き缶を積み上げる、スカイツリー。



地図を手に広～い館内をぐるぐるまわります。

国立赤城青少年交流の家で活躍する、講師やボランティアの方をご紹介します

この人に会いたい

国立赤城青少年交流の家 土器はにわ講師

井上 茂雄さん・はつえさん(波津庵 陶芸・はにわ教室)



いつも愛車BMWに乗って、颯爽と現れるご夫妻。

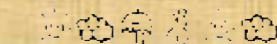
創作活動の「土器・はにわ」は、交流の家でも人気がある活動です。今回は、13年にわたり「土器・はにわ」の講師を務めていらっしゃる、井上茂雄・はつえ「めおと先生」をご紹介します。

いつもお二人で仲良く（時にはお嬢さんのはるみさんも連れて）ご指導くださっています。のぞきに行くと、いつも教室はわきあいあいとしていて、伸び伸びとした作品が作られています。活動では、まず土器かはにわを1つ作り、残った時間で自由作品づくりをします（それが、子どもたちにとっても喜ばれるそうです）。

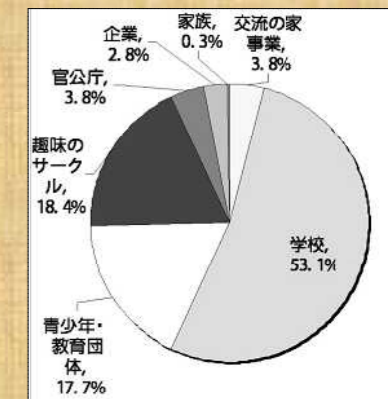
活動の最後には、必ずといっていいほど、「やさしく丁寧に教えてくれてありがとう」と言われるとのこと。また、授業中に突如「先生、私ね・・・」と粘土をこねる子供たちから悩み相談を受けたこともあるそうです。「二人あつての仕事です、うちは！」とおっしゃる太陽のような、はつえ先生、黙々とダンディーで時々ユーモラスな茂雄先生、いつまでも、末永くご指導ください。（文：内田）

活動の最後には、必ずといっていいほど、「やさしく丁寧に教えてくれてありがとう」と言われるとのこと。また、授業中に突如「先生、私ね・・・」と粘土をこねる子供たちから悩み相談を受けたこともあるそうです。「二人あつての仕事です、うちは！」とおっしゃる太陽のような、はつえ先生、黙々とダンディーで時々ユーモラスな茂雄先生、いつまでも、末永くご指導ください。（文：内田）

利用のようす(6～7月)



6月の利用者数
...19,349人
155団体
7月の利用者数
...15,485人
133団体



みなさんの声

利用にあたりよくある質問

Q.放射能汚染が心配です。食べ物や水などは大丈夫ですか？

以下のような対応で、安心・安全な物を提供できるようにしています。

食材：食堂はセゾングループの倉庫より、食品中の放射性物質の検査をして安全とされた物を入荷しております。

水：150mの地下水をくみ上げ、利用しています。放射能測定では、異常なしという結果がでています。

薪：中之条町の薪用の木材を購入しており、安全が確認されています。

その他、活動場所については定期的に前橋市が測定し、市のHPに載っています。また、本所でも測定し安全を確認していますが、雨が降るたびに数値は下がっています。

Q.登山はいつまでできますか？

例年、11月初旬には、地蔵岳や黒檜岳での初冠雪が観測されます。よって、この時期から利用団体の方へは、登山はあまりお勧めしておりません。

アンケートより

代表者会議で確認したことを守れない団体がいた。

代表者会議では標準生活時間や空調機の使用方法など、基本的なルールの再確認を行い、また、各団体のつどいでの役割分担や食事、入浴の時間帯の調整を行っています。

つどいの開始時間に遅れたり、食事や入浴の時間が大幅にずれ込んだりしますと、他の団体の方にも影響がありますので、基本的には代表者会議にて確認した通りに活動をお願いいたします。ですが、天候の状況等によって、やむをえず活動時間がずれ込む場合、確認した通りにいかない場合もあります。他団体の活動がずれ込んでしまったとしても、譲り合いの精神で、ご利用をお願いいたします。



これからの動き

下記の事業の詳細はこちらまでお問い合わせください⇒TEL027-289-7224(国立赤城青少年交流の家)



9/15～16【あかぎぐんぐんキャンプ】1泊2日
地域の子どもたちを対象にしたキャンプです。富士見VYSと連携してプログラムを行っています。

9/22・23、11/3・4【あかぎサンサンがやきキャンプ】各日1泊2日
障がいのある子どもたちの共同生活を通して、お互いが助けあう心や育むとともに、同年代の子どもが共に学び育つきっかけ作りを目的として行います。

10/6【第1回歴史探訪ツアー】日帰り
あの有名な武將と群馬の武將の関係！？群馬にもこんなすごい武將がいた！など、群馬にゆかりのある戦国武將のその後を訪ねる日帰りバスツアーです。

10/14【平成25年度子どもゆめ基金説明会】日帰り
民間団体を対象に、子どもゆめ基金の活用方法・申請方法をわかりやすくお伝えします。「子どもゆめ基金」とは、民間団体が実施する新たな取組や、様々な体験活動や読書活動等への支援を行なっている基金です。

10/18～20、26～28【あかぎ多文化共生推進事業】各回2泊3日
外国人学校の児童生徒が自然体験活動することによって、日本の自然に親しみ、日本の地域社会に踏み出すための足がかりとすることを目的としています。

10/20～21【あかぎアドベンチャープログラム(AAP)体験会】1泊2日
指導者の方にAAPを知ってもらうためのプログラムです。

10/27・28【2012あかぎカップ中学生交流秋季野球大会】群馬県内外の中学校野球部を対象にした、交流試合です。